

計画の評価指標及び目標値

設定した目標の達成状況については、次の評価指標を基に評価・検証を行います。

目標	評価指標	現状値	目標値
地域公共交通の維持・確保	公共交通に係る町民1人当たりの行政支出額(利用環境整備等ハード面に関わる経費は除く)	23,214円/人 (令和5年度)	28,000円/人以内 (令和10年度)
	路線バス(広域幹線及び三江線の代替交通として補助を受けている路線:粕淵線・川本美郷線・作木線)の収支率	22%	20%
誰もが利用しやすい公共交通の整備	公共交通の年間利用者数	68,550人 (令和5年度)	63,000人 (令和10年度)
	公共交通空白地域に対応する移動手段の利用者数(デマンド型乗合タクシー、らくらくバス、タクシー助成制度の年間利用者数)	1,223人 (令和4年度)	1,200人 (令和10年度)
地域の特色や資源を生かした公共交通づくり	住民アンケート調査において、将来の移動に対する不安について、「とても不安である」「少し不安である」と回答した人の割合 (町内の全世帯を対象にアンケート調査を実施)	69% (令和5年度)	60%以下 (令和10年度)

計画のモニタリング

本計画の進捗管理は、「美郷町地域公共交通協議会」が行います。また、PDCAサイクルに基づき、各年度において計画の実施及び評価・検証をします。

なお、最終年度である令和10年度には計画全体の達成状況の評価・検証と計画の更新及び次期計画の策定を行います。

【各年度における計画のPDCAサイクル】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4
Plan 事業内容の検討													
Do 事業の実施													
Check 目標の達成状況や事業の評価・検証													
Action 次年度の方針や事業内容、必要な改善等を検討													

美郷町地域公共交通計画

基本方針

ひととひとをつなぎ、暮らしを守る 公共交通

計画期間

令和6年度(2024年度)～令和10年度(2028年度)

地域住民の移動や公共交通に対する課題を整理し、誰もが使いやすい、持続可能な公共交通を実現するための目標や施策を具体化した、美郷町公共交通施策のマスタープランとなる「美郷町地域公共交通計画」を策定しました。

計画の目標と対応する公共交通の課題

町民アンケート調査や関係機関へのヒアリング等の各種調査から、公共交通の課題を抽出し、課題に対応した計画の目標を設定しました。

【目標1】 地域公共交通の維持・確保

対応する公共交通の課題

- 周辺自治体と接続する公共交通の確保
- 町内の移動手段・公共交通空白地対応策の再整理
- 公共交通の運用効率化
- 公共交通の担い手確保
- 社会環境の変化への対応

【目標2】 誰もが利用しやすい公共交通の整備

対応する公共交通の課題

- 地域によって異なる移動ニーズへの対応
- 町内の移動手段・公共交通空白地対応策の再整理
- 公共交通や移動支援策に関する周知・情報発信
- 福祉分野と公共交通の連携
- 地域コミュニティやまちづくりとの連携
- 社会環境の変化への対応

【目標3】 地域の特色や資源を生かした公共交通づくり

対応する公共交通の課題

- 公共交通の運用効率化
- 公共交通の担い手確保
- 公共交通や移動支援策に関する周知・情報発信
- 福祉分野と公共交通の連携
- 地域コミュニティやまちづくりとの連携

目標1 地域公共交通の維持・確保

【事業①】広域幹線及び広域交通の維持・確保

- 周辺自治体との広域的な移動を担っている路線バスを維持・確保
- 川本美郷線(大和観光)と作木線(備北交通)は、継続して地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)を活用



▲ 川本美郷線(大和観光)

【事業②】公共交通の運用効率化

- 運行コスト縮減と利便性の向上を目的とした、路線バスのダウンサイジング化について実現可能性及び試験的な運用を検討
- 利用の少ないデマンド型乗合タクシー路線について、タクシーによる対応への切り替え等を検討
- 燃料費の削減や脱炭素化を図るため、地域内の輸送で使用する車両について、車両更新にあわせたEV化等を検討

【事業③】公共交通の担い手不足や運用に対する支援

- U・Iターン者に対して運転手の求人情報を提供等、移住・定住者を対象にした施策との連携を検討
- 町内の公共交通機関に従事する者を対象とした第二種運転免許の取得のための支援策を継続
- 町内の交通事業者や交通空白地有償運送・福祉有償運送を運行している団体等を対象とした車両の維持管理費や、車両購入費の補助制度について検討

目標2 誰もが利用しやすい公共交通の整備

【事業④】公共交通空白地域における地域内交通の見直し

公共交通空白地域への対応策として運行している移動手段やタクシー利用助成事業について、利用状況や地域の移動ニーズを踏まえた見直しを検討

【見直しの例】

- デマンド型乗合タクシーやらくらくバス(無償運送)を廃止し、タクシー利用助成事業に統一
- タクシー利用助成事業の内容や上限、乗継割引やタクシーとバスの定期券の検討

【事業⑤】公共交通利用環境の整備

- 利用状況を踏まえた路線バスの乗り継ぎ時刻の調整
- ニーズの高い大田市、川本町、邑南町の総合病院や商業施設への乗り継ぎ利便性の確保
- 定期的なバス停の点検、必要に応じた修繕や整備、ベンチ等の設置

目標3 地域の特色や資源を生かした公共交通づくり

【事業⑧】新技術の活用による利便性向上

- 利用者・バス事業者双方の作業効率化や利便性の向上のため、バスの回数券のマイナンバーカード連携事業を推進
- 中山間地域における自動運転技術の導入・活用等を研究
- 地域通貨である「みさと。Pey」を活用した公共交通運賃の支払いや割引制度について、導入を検討
- IP告知端末を活用した、公共交通の情報発信や周知の検討・実施

【事業⑨】地域組織・団体と連携した移動手段の確保

- 別府・君谷地域や比之宮地域で運行している交通空白地有償運送について、取組が継続できるよう引き続き支援
- 地域の移動手段の維持に向けて、タクシー事業者と連携し、ライドシェア等を含めた多様な選択肢を検討



▲ 交通空白地有償運送(別府・君谷地域)

【事業⑩】地域住民や他部門と連携した公共交通の利用促進策

- 各種団体と連携して、バスの乗り方案内や公共交通に対する説明会・意見交換会を開催
- 商業施設や飲食店、入浴施設などと連携した、公共交通利用者を対象とした割引サービスや公共交通の情報発信の実施
- 児童・生徒を対象にした、校外学習等でのバス利用や乗り方教室の実施を検討



▲ バスの乗り方教室(備北交通)

【事業⑥】運賃助成制度の継続と見直し

- 児童・生徒等を対象にした通学時の運賃助成の継続
- タクシー利用助成事業の継続
- 移動が困難な高齢者や障がい者を対象にした福祉部門の助成事業(美郷町外出困難高齢者等外出支援事業、美郷町障害者移動支援事業)の継続
- 利用状況やニーズ等を踏まえて、路線バスやタクシー運賃の運賃助成制度の内容について、見直しを検討

【事業⑦】公共交通の情報発信

- 広報誌や町のホームページ等を活用した、公共交通に関する取組の紹介や利用の呼びかけの実施
- 高齢者等を対象にした、わかりやすい時刻表、路線図の作成、定期的な更新・周知
- タクシー利用助成事業や福祉部門の移動支援策等の情報発信
- IP告知端末を活用した、公共交通の情報発信や周知の検討・実施